



押仲

高橋町会長題字

【町会長の挨拶】



押上一丁目仲町会
町会長高橋邦夫

秋涼の候、町内の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

この度、二十年九月飛木神社の例祭にあたり町内の皆様方には格別なるご奉納、ご理解、ご協力を賜りお蔭様にて盛大に祭典を執り行うことが出来ましたこと誠に有難う御座いました。これも偏に役員各位をはじめ氏子の皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。

今年の祭礼は三日間、良い天候に恵まれ、子供神輿、大人神輿に最高の祭り日和でした。祭礼委員長が晴れ男だったのでしよう。九月十二日には大人神輿、子供神輿に飛木神社の宮司により魂を入れて頂き、神輿が町内の皆様の家内安全や健康をお祈りしながら練り歩きました。また、仲町会も国際化しまして外国から大人神輿に応援がありまして、とても楽しかった祭礼でした。

この度の祭礼に当たりましては、六月に今年の祭礼委員長を決めて、その後役員会で祭礼委員を決め、七月、八月からの準備、役員の皆様には、それぞれ自分の仕事を持ち、何かとお忙しい中、祭礼中の一丸となつてのご活躍をして頂きました誠にありがとうございます。結びに町内の皆様のご健勝を祈念

押上一丁目仲町会広報部

編集責任者 五月女 稔

第三十八号

平成二十年十月一日

致しまして御礼のご挨拶とさせていただきます。 ※来年の祭礼の頃はタワーが姿を見せられることでしょうか。

【祭礼御礼】

五月女 稔

平成二十年度の飛木稲荷神社祭礼に際しましては、皆様の多大なご支援とご協力を賜り、盛会裏に終える事が出来ました。ここに謹んで御礼申し上げます。

二年ぶりに出した大人神輿では、色々な難題を一つ一つ解決して、ようやく当日を迎えるという貴重な経験を積む事になり、担当役員の皆様には特にご苦勞頂きました。また、目立たない事ですが、照明等の電気関連工事では専門知識が必要のため、毎年同じ役員さんに頼りきりになっている状態です。地味でありながら絶対に必要な作業のため、やむを得ない事なのですが、大きく依存している事に改めて深く感謝致します。

どうしても他町会の祭礼の様子が気になり、あちらこちらと見て回ると、決して最良目ではなく、やはり仲町会が一番という想いが致します。

僅か三日間とはいえ、役員始め町内の皆様のご協力があればこそ出来る事です。これからも皆様に楽しんで頂けるお祭りになるように、祭礼役員一同努力して参ります。

【祭礼総務部より】

大橋 由明

このたびの祭礼行事に総務部の責

任者としてお手伝いをさせて頂いていただきましたが、皆様のおかげで大変スムーズに運営執行ができ、深く御礼と感謝を申し上げます。高橋町会長様や五月女祭礼委員長（町会副会長）他の副委員長をはじめ祭礼各部の部長、副部长、関係役員の方々の責任のある仕事ぶりに並々ならぬご努力とご協力を目の当たりにして頭の下がる思いでした。特に総務部の婦人会の役員の方々には、例年のとおり、各ご家庭の祭礼予定があるにも関わらず町会祭礼の方に朝早くから夜の遅くまで文句の一つも言わずに黙々とご自身の与えられた任務をこなしていた頂き、これも御礼と感謝に堪えません。

それに引き換え小職の方は、名前ばかりの総務部長で、時には生意気な口調で連絡したり、不愉快な思いをさせたりしてご迷惑ばかりおかけしたと思えますので、この紙面をお借りして陳謝いたします。

【婦人会】

大橋 祥子

今年の祭礼行事には、お手伝いの方々、本当にお疲れ様でした。婦人会は、例年とおおり「総務部」「演芸部」「模擬店（やきそば・フランク）」を担当しました。

昨年「模擬店」を担当したのですが、手際よく進行できたと思います。販売時間を少し遅くしたので昨年の暑さに比べて今年は少々楽な

感じでした。午後五時からの販売でしたが、一時間少々で完売いたしました。町会の皆様、お買い上げいただきましてありがとうございます。また、暑さの中、テント設置、鉄板等の準備をしていただいた役員の方々ご協力ありがとうございました。最後に、こども会の皆様と合同の模擬店でしたが、いろいろとお気遣いご協力していただきありがとうございます。御礼申し上げます。

秋の交通安全のお礼

九月二十一日から三十日までの間、秋の交通安全運動が終了しました。町会会員の方々のご協力ありがとうございました。



【秋の山寺から】

石田輝雄

山寺とは慈覚大師が4百余年前に開山した。と言われる山形県に在る天台宗の宝珠山立石寺の事であり、取り分け俳人松尾芭蕉が山寺を訪れた時、

「閑さや 岩にしみ入る 蟬の声」の句を残したのは有名。(芭蕉が訪れたのは元禄二年(一六八九年)夏の事)紅葉の十月下旬、山寺詣と紅葉を賞でる事にした。スケジュールは何時も乍ら家内の作。今日は上野駅地下四階の東北新幹線ホームへ降りる。入線して来た「やまびこ三十一号」に乗車。早速ホームで求めた弁当を開き車中朝食とする。途中窓外かなり霧が立ちこめている所があり雨か と気になったが杞憂にすぎなかった。時刻通り仙台着。「快速仙山一号」に乗り換えて山寺に向かう(仙山線)。山間に入ると窓外は見事な紅葉。心が洗われる様。四十数分で山寺駅到着。駅舎は小さいが駅舎内には芭蕉の人形が飾られ、木の切株の椅子が並べられてあり、飾り棚にはこけし人形。窓口は無くカウンターになっていて駅員さんが二人、そして仲々親切。山寺への道順を記したパンフレットを頂いて駅前へ出る。目の前に大きな崖壁が聳びえる険しい山が、そして良く見ると小さく御堂が点在している山寺である。立会川に架る橋を渡ると登山口。奥の細道の道標が建つてある。石段を登り始める。先づ根元中堂(重文)内部には慈覚大師が比叡山から移したと言われる不滅の法灯が今も燃え続けている。一步一步石段を登る。山門を潜る。更に登ると左側に蟬塚(奥の細道を尋ねた芭蕉の供養碑)そして仁王門。性想院から左に足をのぼすと五大堂・誓司祠・天狗岩・真直ぐ登ると金乗院がある。千百余段の石段を登り切ると奥の院。

大六阿弥陀如来の金色の座像「五メートル」が安置されてある。納経所で記帳して頂く。汗して登り参詣を済ませ清々しい気持ち。此処から見渡す山々の紅葉も又格別な眺め。参詣に訪ずれる人々は引もきらず、芭蕉が訪ずれた時感じた山寺の静寂さ現代ではあり得ない。山寺へのお参りは終った。下山しよう。土産物店の店先に大きな鍋。串刺しの丸いコンニャクが美味しそうに湯気をたてている。力コンニャクとて 此の地の名物の由。少々辛いがうまい。駅へ戻る。お参りが早く済んだので家内は駅員さんの助言で予定表を修正し「快速仙山三号」に乗る事にする。駅弁は無いのでパンでも求めてくると家内は駅前へ出かける。小奇麗な「おのや」と言うお店、弁当を作りましたよ。と出来たての栗弁当を手だ。発車して家内は早速車内昼食。こちらは少々アルコールの補給。山形駅着、下車。徒歩で山形城跡へ最上義光の居城だった所。今は霞城公園として大手門や隅櫓も復元され、最上義光の銅像も建立されてあった。山形は静かな街と言った印象。駅へ戻りホームの駅そばを吸る。大曲行の「L特急つばさ五号」で鳴子へ向かう(陸羽東線)。途中新庄で乗り換え鳴子駅着。之からバスで鬼首へ行く予定。生憎冷たい風が吹いてきて雨となる。雨中バスはかなりなスピードで走る。行きは鬼首ロジ(国民宿舎)バス停の直前が宿舎だ。即入る何と暖かい。係の人曰く「もう暖房を入れてありますので」正直ホッとした。兎に角一風呂。寝しなにもう一度浴びて休む。部屋は暖かく静かな夜。翌朝は青空。朝食後チェックアウトが十時だから、フロントに荷物を預け教えてもらった間欠泉他の見学に出かける。鬼首ロジを出て道を右にとり十分程歩いた。

Y字路を左に進む。地獄沢入口の道標。そこから下りて溪流に出る。川岸の小道を進む。所々ボコボコ音と音がして熱湯が湧き出ている。時折り噴出もする由。注意して歩かぬと火傷の危険がある。Y字路迄戻り今度は右の道を行く。坂を登った所に間欠泉。此処は熱湯が十五分置に十メートルも噴き上げ日本一の由自然の力に脱帽。期待通り満足なり。ロジへ戻り鳴子行のバスを待つ。十人程がバスへ乗る。鳴子峡中山平入口で下車する。さあ之から有名な鳴子峡の紅葉観賞だ。食品の露店が多く出店していて賑やかだ。大谷川の渓谷迄下りる。左側の道を大谷橋迄散策するのだ。途中には獅子岩、夫婦岩等奇岩怪石も多く飽きない風景。屏風のように連らなつた岩石に着生した木々の紅葉は最高の眺め。溪流に落葉が流れているのも又一景。鳴子峡入口迄丁度一時間の散策だった。久々に紅葉を堪能する事が出来た。中山平入口から歩いた方が道が下りなので大分楽なのだ。道路へ出た所で良い具合に一台タクシーが来たので駅迄行ってもらう事にする。「今年は霧がおそいので紅葉は今一です」と運転手さんの言葉だったが私達にとっては最高であり満足であった。普通電車に乗る。乗客は僅か。此の電車は片側が二人掛け、片側が一人掛けの椅子席になっており私としては初めてだった。途中小午田で乗り換えてやがて仙台駅に到着、下車。仙台駅前から市営バスに乗車し青葉城跡で下車。城跡公園の散策。伊達政宗の銅像が見事だ。園内一巡を終りタクシーで仙台駅へ戻る。駅の地下街で車中での飲食物を少々求めホームへ、新幹線「やまびこ五十号」に乗車する。楽しい旅を終り車中で家内と乾杯。之又格別の味。そして上野へ紅葉を堪能した旅であった。

【O S T】

皆様お元気でお過ごしでしょうか。十月の声を聞きこころ三日雨降りて急に涼しさを感じて寒さを感じる今日此の頃です。今年の夏は大変異常気象で三十度を越す日が多々あり、お身体お疲れではありませんか。さて九月は飛木様のお祭りでOSTでは毎年の様に受付をお手伝いさせて頂きました。

又、祭礼踊りにも中村さん、多賀さん達を中心になって踊って下さって、大勢の子供さん若いお母さん方も踊って賑やかでした。二十日にはクリーンキャンペーンで十七名の方達の参加で町内をきれいにして下さいました。二十四日には区役所で輪投げ大会がありました。OSTからは十二名参加で八十五才以上の参加で松倉さんが表彰されました。又、安藤さんが組一番で沢山投げたので又表彰されました。二十八日は八月九月生まれの方の誕生日会で二十一名出席し、賑やかにお喋りしたりお菓子を食べたりして最後は唄を歌ってお開きにしました。二十九日は曳舟文化センターで「ふみ子の海」と云う映画があり見て参りました。十月五日は防災訓練の日ですのでOSTからも参加するのでお待ちしております。

【ごみの出し方の変更】

先日、回覧にて皆様ご承知のとおり、十月一日より「燃やすごみ」、「燃やさないごみ」と「資源ごみ」の出し方が変更になりました。

特に「燃やすごみ」の対象が大幅に変わりましたので、充分ご注意ください、お出しください。

燃やすごみ

従来の燃やすごみ+プラスチック

+皮革+ゴム等

燃やさないごみ

金属類+ガラス+陶器・磁器+スプレー缶等

資源ごみ

従来の資源ごみ+発泡スチロール製食品トレー(洗浄されたもの)

収集曜日

「燃やすごみ」は、従来通り
毎週 火曜日、金曜日

「燃やさないごみ」

第一、第三木曜日に変更

以上、よろしくお願い申し上げます。

【押上地区の変貌】



【編集後記】

天気の良い時に空を見上げると、秋の抜けるような青空にクレインが林立しているのが目立ちます。新タワー「東京スカイツリー」が、いよいよ現実のものになり始めたという事です。新と旧の折り合いが上手について、押上周辺が暮らし易い地域になる姿を考える時期になりました。整然とした街並みは、規制で創り上げたもの、雑然とした街並みは、必要が生み出した結果。さて、将来の姿はどちらを選択しますか?

【町会ホームページのお知らせ】

毎回の町会新聞発行時にホームページの内容を更新し、また随時、町会行事告知や活動報告なども追加更新しています。ぜひホームページもご覧下さい。検索する場合は「押仲」で探せます。